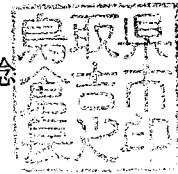


受 管 第 1027 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

倉吉市長 長谷川

稔



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鳥取県倉吉市

基幹道路整備に当たっては、地方の活性化や自立・再生にも配慮した地域間格差への対応、安全・安心の確保、豊かな生活環境を守り育て、創造の観点から地域住民のニーズを幅広くくみ取り、生活者重視の視点を踏まえつつ、利用者数のみで判断することなく国土全般から考察すべきで、真に必要な道路整備を計画的かつ着実に推進する必要がある。

また、地域住民に密接な関わりを持つ市町村道は、今後老朽化する道路施設が確実に増大することを踏まえ、住民が快適で安心して利用できる道路・橋梁のストック管理を行わなければならない。そのために、地域性や地方の実情を十分把握し、地方における道路網の整備のための施策整備や道路整備財源の確保を図る必要がある。

②-1 地域の現状と抱える課題

鳥取県倉吉市

○現 状

本地域は、高規格幹線道路や地域高規格道路等による高速ネットワークの構築が全国の他地域に比べ立ち遅れ、1日も早い整備が熱望されている。

さらに、災害時に即応したネットワークの構築や救急医療活動等を適切に実施するための生活道路の整備も未だ十分な状況にあるとは言えない。

そのため、走行性の高い安全な道が確保されていないことから、地場産業の育成や観光振興等に依然として課題を抱えているとともに、生活の最低条件とも言える「安全・安心」が確保されないため、若者等が交通手段や道路ネットワークが充実している都市部へ流出し、高齢化率の増加を招き地域間格差が増大している。

○課 題

全国平均より高齢化が進展しつつある本地域は、災害や救急医療に即応した「安全で安心して暮らせる地域づくり」や都市との交流・共生を目指した「個性を活かした地域づくり」が緊急の課題となっている。

活性化のための必要な道路整備を計画的に進めることは最も重要であり、財政力の弱い地域にとって、道路財源が確保出来ないと生活道路の安全対策や除雪などに支障をきたすとともに、地方の自立、活力ある地域社会の基盤となる道路ネットワークの整備が困難となるため、直接私たちの生活に深刻な影響を及ぼすことになる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

鳥取県倉吉市

地域の経済・社会活動を支える最も基本的な社会基盤である道路の果たす役割は重要であり、高速道路から市町村道に至る道路整備を計画的かつ強力に推進することにより、地域間格差の是正や定住・交流を促進し、地域の持つ価値や魅力を発信し、活力に満ちた安全安心な地域社会の実現を目指すものである。

特に市町村については、道路維持を継続的に取り組み、生活密着道路を充実することで、ストック活用となり耐久化につながり、これによって地方財政圧迫を抑制することにもなる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

鳥取県倉吉市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	その他
・地域活力の向上	鳥取県中部地域と岡山県北部地域は、以前から県境を越えた日常の生活圏を構成しており、現在でも経済活動のみならず医療、福祉の観点から強い絆で結ばれている。 さらに交流を促進し、地域の活性化に大きく寄与する幹線道路として期待されている地域高規格道路の整備促進を図るため、県境を越えて連携した取り組みをを行っている。	地域高規格道路が整備され、地域間の物流や交流がさらに深まれば、地域の持つ価値や魅力は大きく高まり、特に観光面においては、多くの観光客を引きつける力があり、これらの観光資源を近隣とつなぎ新しい観光ルートや商品の開拓にもつながる。 また、地場産業も活性化し、新たな起業や企業誘致による雇用、ひいては若者定住にもつながり、さらに地域医療連携も可能となることから高齢化社会に貢献し、地域全体が活性化される。	